

# Science Cafe in Shizuoka 2017-2018

# サイエンスカフェ in 静岡

申込不要  
参加無料

サイエンスの最前線を  
わかりやすくお話しします。  
コーヒーとお菓子をご用意して  
お待ちしております。  
お気軽にお越しください。

場所/B-nest 静岡市産学交流センター

静岡市葵区御幸町3-21 ペガサート6階 プレゼンテーションルーム

<http://www.b-nest.jp>

時間/18:00 ~ 19:30  
(開場 17:00)

定員150名(先着順)

※ 満席に達した場合、ご入場頂けません。



9月

7木

第118話



レベル1・5津波  
理学部 地球科学科 北村 晃寿

静岡県では4千年間に最大クラスの津波レベル2津波の歴史・地質記録は未見です。一方、明応地震レベル1地震(で焼津沿岸では海底地滑りが起きたと推定されています。海底地滑りはレベル1津波を増大するので、この津波(レベル1・5津波)の解明は喫緊の課題です。



10月

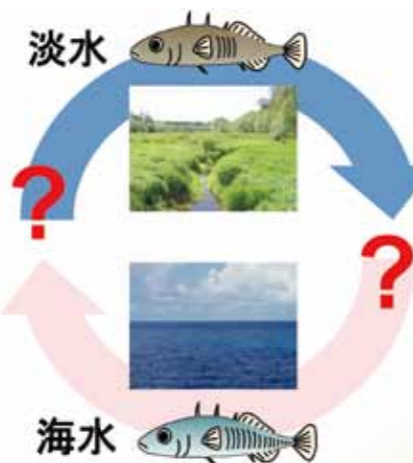
19木

第119話



海水魚と淡水魚を  
同じ水槽で飼うためには?  
浸透圧調節のメカニズムから考える  
理学部 創造理学コース 日下部 誠

最近テレビなどで金魚とクマノミが一緒に泳ぐ様子が紹介されています。通常では考えられない組み合わせがなぜ可能になるのかということ、「魚の浸透圧調節」という生理学的な視点から紹介します。



11月

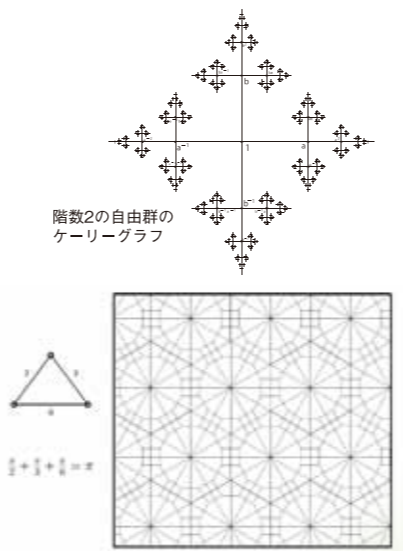
30木

第120話



三角形の鏡映による  
敷き詰めからコクセター群へ  
理学部 数学科 保坂 哲也

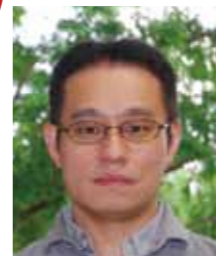
「群」という代数的な概念は、時として幾何的な図形と対応して現れることがあります。今回特に、三角形を「鏡映」という鏡に映したように反転させてできるきれいな図形が、コクセター群とよばれる代数的なものとの関係する様子をお伝えしたいと思います。



12月

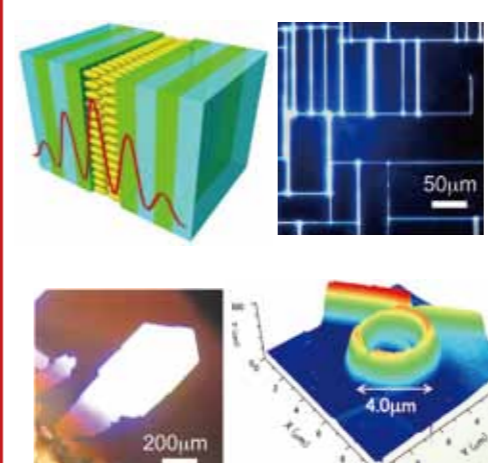
14木

第121話



光微小共振器  
ナノサイズの「合わせ鏡」  
理学部 物理学科 阪東 一毅

「合わせ鏡」はオカルトではなく、物理では光を閉じ込める道具となります。鏡間距離をナノサイズまで小さくすると、光子に対する量子論的效果が巨視サイズで現れるようになります。ナノ光共振器もたらず光の新奇現象を紹介します。



1月

18木

第122話



すばらしき  
コヘポータ・ワールド  
理学部 創造理学コース デュア ガエル

コヘポータ(カイアシ類)は、水域でも豊富かつ広範に存在する種です。これらの生物はサイズとしては小さいものの、地球上の全生物の中で最も重要な位置を占めています。彼達の素晴らしい世界について、ご紹介します。



主催：静岡大学理学部

お問い合わせ ☎ 054-238-7069

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学理学部生物科学科 天野豊己



[e-mail] [sci-cafe@ipc.shizuoka.ac.jp](mailto:sci-cafe@ipc.shizuoka.ac.jp)  
[公式サイト] <http://www.sci.shizuoka.ac.jp/sciencecafe/>  
[ブログ] <http://sciencecafe.eshizuoka.jp/>  
[ツイッター] <https://twitter.com/SciCafeShizuoka>